

# 我が国のG空間(地理空間)情報社会の展望

地理空間情報(G空間情報;地理情報と衛星測位情報)は交通・観光・災害・建設・物流・交通・警備保障・環境保全等の広範囲な分野で利用され、生活や経済に深く浸透し、産業・経済活動や国民の安全・安心などに不可欠な社会基盤情報となっています。

我が国では、地理空間情報活用推進基本法が平成19年に制定され、翌年、基本計画が閣議決定されました。また、基本計画に基づいて「地理空間情報産学官連携協議会」が発足し、新たな産業の創出に向けた活動が推進されています。

例えば昨年9月に打ち上げられた我が国初の測位衛星である準天頂衛星初号機「みちびき」を利用して、現在、産学官で100件を超える実証試験が進められている事、更にはこのたびの東日本大震災で、将来を見据えた先進的な復旧・復興や災害予知・予防などに大変有効であるとして具体的な事業に向けた検討が進められている事などがあげられます。

この様にG空間情報を高度に活用できる社会(G空間社会)の実現をめざしてその活動は本格化しており、本年9月30日にはその社会基盤インフラとしての測位衛星(準天頂衛星)システムの整備を行うことも国の基本方針として閣議決定されたところでもあります。

本講演では、これらの経緯や実証実験、最近のトピックスなどをご紹介し、地域の活性化などに貢献する高度G空間情報社会の実現に向けた展望について考察します。



### 防災・セキュリティ

災害時の情報収集&災害復旧支援

統一座標系の地図上に、災害情報を付加することで、総合的な災害復旧支援が可能となる(道路規制・避難誘導等)

### 運輸・交通・ITS

歩行者・自転車との交通事故低減

精密測位情報から歩行者・自転車の位置・速度・方向を端末で測定しLDSCRで付近の自動車に提供

### 国土管理・環境

土壌汚染のリスク管理

土壌汚染状況やGISデータ上で表示

### エンターテインメント

場所のシームレス、観光情報サービスの構築

図遊型/ナビ型選択式観光ナビゲーションシステム

### 新事業

いつでも、どこでも、必要な情報提供

屋内外でのシームレスな測位による時空間メディアサービス

### 建築・土木・農林水産

建設機械作業位置による自動化施工

加速設備地図データと作業位置連携によるIT自動化施工

### 医療・福祉

訪問介護員位置管理システム全国に展開

位置情報利用による利用者と訪問介護員の安心サービスの提供

### 就労・時間管理

場所のシームレス勤体管理システムの構築

外国従業員勤体管理をGPS搭載で